

多言語対応・ICT化推進フォーラム 「外国語チャンネル配信アプリについて」

講師：スカパーJSAT株式会社 メディア事業部門 LIFEビジネスセンター LIFE事業部
OTTコンテンツ担当主幹 森元 光一氏

2019年12月24日、「2020年オリンピック・パラリンピック大会に向けた多言語対応協議会」は、多言語対応の先進的な取組やICTの情報を広く共有・発信するため、「多言語対応・ICT化推進フォーラム」を開催しました。

スカパーJSAT株式会社（以下、スカパーJSAT）の森元光一氏によるセミナーでは、海外有力放送局の無料ライブストリーミングを集約する、外国語チャンネル配信アプリ「Portable News」の機能や目的が説明されました。

「Portable News」は、総務省近畿総合通信局が災害情報伝達プラットフォームの構築に向け実施した「外国人旅行者や外国人住民に災害情報を伝えるシステムの実証実験」において、実証実験のプラットフォームとして採用された外国語チャンネル配信アプリです。近年、世界各国から3,000万人を超える外国人旅行者が来日しており、多言語による災害情報提供が重要度を増す中で、「Portable News」は緊急災害情報をいち早く多言語で配信することで、外国人旅行者が日本にいながら、いつでも自国の情報を無料で入手することができます。このようなアプリの活用により、スカパーJSATは、日本語に不慣れな外国人の安全・安心を支えることを目指しています。

「Portable News」は、旅行者や短期滞在者を対象にしており、シンプルなUI（ユーザーインターフェイス）と操作性が特徴です。2018年2月にリリースされ、現在は日本語・英語・韓国語・中国語（繁体字・簡体字）の4カ国5言語に対応し、アジア・オセアニア・ヨーロッパ・アフリカ・中東などをカバーする12局のチャンネルが用意されています。また、地震など災害が多く発生する日本での滞在に備え、いち早く情報が入手できるよう、緊急災害情報が多言語で届くPUSH機能を有し、アプリ内で位置情報を設定することで、より早い情報入手が可能で、現在、搭載しているのは地震速報のみですが、気象庁の警戒アラートをもとに、津波、大雨、噴火などの警報や注意報までを網羅することが可能になっています。

2019年6月28日、29日に開催されたG20大阪サミットにおいても「Portable News」を活用し、世界各国のメディアに向けた事務局からの連絡や観光協会による招待プログラムなどを、それぞれの言語で配信するという実証実験も行われました。

スカパーJSATは、今後さらに広い分野で「Portable News」を活用していただくために、中国各局のチャンネル拡大やダウンロード数を増加させることで、より幅広いサービス創出を目指しています。



チャンネル画面

ランディングページ

※総務省近畿総合通信局 報道資料「外国人への多言語災害情報伝達システムの実証運用開始について」

→http://www.soumu.go.jp/soutsu/kinki/01sotsu07_01001477.html

(令和2年2月作成)

問い合わせ先

スカパーJSAT 株式会社 メディア事業部門 LIFE ビジネスセンター LIFE 事業部

公式サイト：<https://www.skyperfectjsat.space/>